対象校No. 267

注4

学校コード F101310100187

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

北星学園大学 社会福祉学部 社会福祉学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人北星学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画広報課

職名・氏名 カチョウ タカハシ アキラ
課長 高橋 章

電話番号 011-891-2731 (4360)

(夜間) 同上

e-mail kikaku@hokusei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人北星学園

(2) 大学名

北星学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒004-8631

北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フルカワ タカヤス) 古川 敬康 (令和2年4月)		
学長	(ダイボウ イクオ) 大坊 郁夫 (平成30年4月)	(ナカムラ カズヒコ) 中村 和彦 (令和6年4月)	・変更理由：任期満了に伴う交代 ・変更年月日：令和6年4月1日 ・報告年度：(6)
学部長	(ニシダ ミツキヨ) 西田 充潔 (令和4年4月)		
学科長等	(イトウ シンイチロウ) 伊藤 新一郎 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会福祉学部 社会福祉学科 学士(社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係	4年	120人	2年次 0人 3年次 5人 4年次 0人	490人	-	(基礎となる学部等) 社会福祉学部 福祉計画学科 福祉臨床学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	()	()	120	()	120	()	-	1.05倍	-	
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	350	()	244	()	-			
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	348	()	241	()	-			
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	213	()	198	()	-			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	128	()	124	()	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.06	-	1.03	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	128	-	124	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	128	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	128	-	252	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	-
令和2年度	-	-	令和元年度	- 人	- 人	-
			令和2年度	- 人	- 人	-
令和3年度	-	-	令和元年度	- 人	- 人	-
			令和2年度	- 人	- 人	-
			令和3年度	- 人	- 人	-
令和4年度	-	-	令和元年度	- 人	- 人	-
			令和2年度	- 人	- 人	-
			令和3年度	- 人	- 人	-
			令和4年度	- 人	- 人	-
令和5年度	128 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	-
			令和2年度	- 人	- 人	-
			令和3年度	- 人	- 人	-
			令和4年度	- 人	- 人	-
			令和5年度	0 人	0 人	-
令和6年度	252 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	-
			令和2年度	- 人	- 人	-
			令和3年度	- 人	- 人	-
			令和4年度	- 人	- 人	-
			令和5年度	0 人	0 人	-
			令和6年度	0 人	0 人	-
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{128} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{252} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会福祉学部 社会福祉学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会福祉学 基盤科目	社会福祉学入門	1前	2			9	3					兼1
	社会福祉の歴史と思想	1後	2			1						
	人間の発達と社会	1後	2			1						
	社会福祉と法	2前	2									
	社会福祉概説Ⅰ	1前	2			1						
	社会福祉概説Ⅱ	1後	2			1						
	ソーシャルワーク論の基礎と専門職〔共通〕	1前	2			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ〔共通〕	1前	2			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ〔共通〕	1後	2	2								
	社会福祉基礎ゼミナールⅠ	1通	2			3	1					
社会福祉基礎ゼミナールⅡ	2通	2			4							
小計(11科目)	—	20	2	0	9	3	0	0	0	0	兼5	
社会福祉学 展開科目	社会福祉研究法Ⅰ	3前	2			1	2					兼1
	社会福祉研究法Ⅱ	3後	2									
	社会福祉専門ゼミナールⅠ	3前	2			9	3					
	社会福祉専門ゼミナールⅡ	3後	2			9	3					
	卒業研究	4通	4			9	3					
小計(5科目)	—	10	2	0	9	3	0	0	0	0	兼2	
社会福祉学 専門科目	心理学と心理的支援	1後	2									兼1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前	2									
	高齢者福祉論	2前	2			1						
	国際福祉論	2後	2			3						
	社会福祉調査論	3前	2			1						
	福祉政策論	3前	2			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3前	2									
	海外福祉実習	2通	4			1						
	災害と福祉	3前	1			1						
小計(9科目)	—	0	19	0	4	1	0	0	0	0	兼5	
社会福祉学 社会福祉学関連科目	ジェンダー論	1前	2			1						兼1
	生涯学習概論	1通	4									
	社会教育経営論Ⅰ	2前	2									
	社会教育経営論Ⅱ	2後	2									
	生涯学習支援論Ⅰ	2前	2									
	生涯学習支援論Ⅱ	2後	2									
	社会教育演習	4通	4									
	社会教育実習	2通	1									
	青少年問題と社会教育	3前	2									
	家庭教育と社会教育	2前	2									
	現代資本主義論	2後	2									
	日本経済論Ⅰ	3前	2									
	世界史	2前	4									
	地理学	2前	2									
	現代哲学	2後	2									
	地誌概説	2後	4									
	日本史Ⅰ〔前近代〕	2前	2									
	日本史Ⅱ〔近現代〕	2後	2									
	社会保障法	3前	2									
小計(19科目)	—	0	45	0	1	0	0	0	0	0	兼9	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会福祉学 基盤科目	社会福祉学入門	1前	2			10	1					兼2
	社会福祉の歴史と思想	1後	2			1						
	人間の発達と社会	1後	2			1						
	社会福祉と法	2前	2									
	社会福祉概説Ⅰ	1前	2			1						
	社会福祉概説Ⅱ	1後	2			1						
	ソーシャルワーク論の基礎と専門職	1前	2			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1前	2			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	1後	2	2								
	社会福祉基礎ゼミナールⅠ	1通	2			4						
社会福祉基礎ゼミナールⅡ	2通	2			4							
小計(11科目)	—	20	2	0	10	1	0	0	0	0	兼6	
社会福祉学 展開科目	社会福祉研究法Ⅰ	3前	2			2	1					兼1
	社会福祉研究法Ⅱ	3後	2									
	社会福祉専門ゼミナールⅠ	3前	2			10	1					
	社会福祉専門ゼミナールⅡ	3後	2			10	1					
	卒業研究	4通	4			10	1					
小計(5科目)	—	10	2	0	10	1	0	0	0	0	兼2	
社会福祉学 専門科目	心理学と心理的支援	1後	2									兼1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前	2									
	高齢者福祉論	2前	2				1					
	国際福祉論	2後	2			3						
	社会福祉調査論	3前	2			1						
	福祉政策論	3前	2			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3前	2									
	海外福祉実習	2通	4			1						
	災害と福祉	3前	1			1						
小計(9科目)	—	0	19	0	4	1	0	0	0	0	兼5	
社会福祉学 社会福祉学関連科目	ジェンダー論	1前	2			1						兼1
	生涯学習概論	1通	4									
	社会教育経営論Ⅰ	2前	2									
	社会教育経営論Ⅱ	2後	2									
	生涯学習支援論Ⅰ	2前	2									
	生涯学習支援論Ⅱ	2後	2									
	社会教育演習	4通	4									
	社会教育実習	2通	1									
	青少年問題と社会教育	3前	2									
	家庭教育と社会教育	2前	2									
	現代資本主義論	2後	2									
	日本経済論Ⅰ	3前	2									
	世界史	2前	4									
	地理学	2前	2									
	現代哲学	2後	2									
	地誌概説	2後	4									
	日本史Ⅰ〔前近代〕	2前	2									
	日本史Ⅱ〔近現代〕	2後	2									
	社会保障法	3前	2									
小計(19科目)	—	0	45	0	1	0	0	0	0	0	兼11	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会福祉学関連科目	社会学と社会システム	1後	2								兼1
	社会保障論Ⅰ	2前	2			1					兼1
	福祉財政論	2前	2								兼1
	障害者福祉論	2前	2		1						兼1
	児童・家庭福祉論	2前	2		1						兼1
	知的障害者の心理	2前	2		1						兼1
	肢体不自由者の心理	2前	2				1				兼1
	病弱者の心理	2後	2								兼1
	権利擁護を支える法制度	2後	2								兼1
	司法福祉論	3前	2								兼1
	障害児教育論	3前	2								兼1
	スクールソーシャルワーク論	3後	2			1					兼1
	スクールソーシャルワーク演習	4通	1			1					兼1
	スクールソーシャルワーク実習	4通	3			1					兼1
	スクールソーシャルワーク実習指導	4通	1			1					兼1
小計(15科目)	—	0	29	0	3	2	1	0	0	兼6	
専門科目	医学概論	1後	2								兼1
	公的扶助論	2後	2			1					兼1
	社会保障論Ⅱ	2後	2								兼1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後	2		1						兼1
	社会福祉管理運営論	3前	2			1					兼1
	保健医療と福祉	3前	2								兼1
	ソーシャルワークの基盤と専門職〔専門〕	2前	2			1					兼1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ〔専門〕	2前	2								兼1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ〔専門〕	2後	2								兼1
	ソーシャルワーク演習〔共通〕	2前	2		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅰ	2後	2		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅱ	3前	4		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅲ	3後	2		3						兼1
	ソーシャルワーク入門実習	2後	2		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実習	3通	8		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実践論	2前	2			2					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後	2		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3前	2		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3後	3		3	2					兼1
小計(19科目)	—	0	47	0	6	3	0	0	0	兼6	
ソーシャルワーク科目	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2前	2		1						兼1
	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2後	2			1					兼1
	精神医学と精神医療Ⅰ	3前	2								兼1
	精神医学と精神医療Ⅱ	3後	2								兼1
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	3後	2								兼1
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2後	2		1						兼1
	精神保健福祉の原理Ⅱ	3前	2		1						兼1
	精神障害者リハビリテーション論	4前	2								兼1
	精神保健福祉制度論	3後	2		1						兼1
	ソーシャルワーク演習Ⅰ〔精神〕	3後	2		2						兼1
	ソーシャルワーク演習Ⅱ〔精神〕	4後	2		2						兼1
	ソーシャルワーク実習〔精神〕	4通	7		2	1					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔精神〕	3後	2		2						兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔精神〕	4通	4		2	1					兼1
	総合演習Ⅰ	4前	2		4	1					兼3
	総合演習Ⅱ	4後	2		5	2					兼3
小計(16科目)	—	0	39	0	9	3	0	0	0	兼6	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会福祉学関連科目	社会学と社会システム	1前	2								兼1
	社会保障論Ⅰ	2前	2			1					兼1
	福祉財政論	2前	2								兼1
	障害者福祉論	2前	2		1						兼1
	児童・家庭福祉論	2前	2		1						兼1
	知的障害者の心理	2前	2		1						兼1
	肢体不自由者の心理	2前	2				1				兼1
	病弱者の心理	2後	2								兼1
	権利擁護を支える法制度	2後	2								兼1
	司法福祉論	3前	2								兼1
	障害児教育論	3前	2								兼1
	スクールソーシャルワーク論	3後	2			1					兼1
	スクールソーシャルワーク演習	4通	1			1					兼1
	スクールソーシャルワーク実習	4通	3			1					兼1
	スクールソーシャルワーク実習指導	4通	1			1					兼1
小計(15科目)	—	0	29	0	5	1	0	0	0	兼7	
専門科目	医学概論	1前	2								兼2
	公的扶助論	2後	2			1					兼1
	社会保障論Ⅱ	2後	2								兼1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後	2		1						兼1
	社会福祉管理運営論	3前	2			1					兼1
	保健医療と福祉	3前	2								兼1
	ソーシャルワークの基盤と専門職〔専門〕	2前	2			1					兼1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ〔専門〕	2前	2								兼1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ〔専門〕	2後	2								兼1
	ソーシャルワーク演習	2前	2		3						兼2
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅰ	2後	2		3						兼2
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅱ	3前	4		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅲ	3後	2		3						兼1
	ソーシャルワーク入門実習	2後	2		4	1					兼1
	ソーシャルワーク実習	3通	8		4	1					兼1
	ソーシャルワーク実践論	2前	2			2					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後	2		4	1					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3前	2		4	1					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3後	3		4	1					兼1
小計(19科目)	—	0	47	0	8	1	0	0	0	兼7	
ソーシャルワーク科目	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2前	2								兼2
	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2後	2			1					兼1
	精神医学と精神医療Ⅰ	3前	2								兼1
	精神医学と精神医療Ⅱ	3後	2								兼1
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	3後	2								兼1
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2後	2								兼2
	精神保健福祉の原理Ⅱ	3前	2			1					兼1
	精神障害者リハビリテーション論	4前	2								兼1
	精神保健福祉制度論	3後	2		1						兼1
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	3後	2		1						兼1
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	4通	4		1						兼1
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	4通	7		2						兼1
	精神保健ソーシャルワーク実習	4通	7		2						兼1
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後	2		1						兼1
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4通	4		2						兼1
	総合演習Ⅰ	4前	2		4	1					兼3
総合演習Ⅱ	4後	2		6	1					兼3	
小計(16科目)	—	0	41	0	10	1	0	0	0	兼8	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域デザイン専門科目	地域デザイン論	1前		2		1						
	地方自治論	3後		2								兼1
	地域デザイン実習	3通		4			1					
	ソーシャル・ビジネス論	2後		2								兼1
	ソーシャル・マネジメント論	3前		2								兼1
	医療経済学	2後		2								兼1
	労働法	3前		2								兼1
	行政法	3後		2								兼1
	社会調査方法論	1後		2								兼1
小計(9科目)	—	0	20	0	1	1	0	0	0		兼7	
教育専門科目	倫理学	1後		2		2						
	憲法Ⅰ〔人権〕	1後		4								兼1
	憲法Ⅱ〔統治機構〕	2前		4								兼1
	現代社会学	2前		2								兼1
	国際政治学	2前		2								兼1
	宗教学	2前		2								兼1
	現代政治学	2後		2								兼1
	社会思想史	3前		2								兼1
	国際経済学Ⅰ	3前		2								兼1
	法学概論	2前		2								兼1
小計(10科目)	—	0	24	0	2	0	0	0	0		兼7	
特別支援教育専門科目	知的障害者の病理保健	3前		2								兼1
	肢体不自由者の病理保健	3後		2								兼1
	病弱者の病理保健	3後		2								兼1
	知的障害教育方法論Ⅰ	2前		2			1					
	知的障害教育方法論Ⅱ	2後		2			1					
	病弱教育方法論	2前		2								兼1
	重複障害・LD等教育論	2前		2								兼1
	肢体不自由教育方法論	2後		2			1					
	視覚障害教育論	3前		2								兼1
	聴覚障害教育論	3後		2								兼1
	障害児教育実習	3通		3			1					兼1
小計(11科目)	—	0	23	0	0	0	1	0	0		兼7	
人間科学	健康管理学	1前		2								兼1
	身体の科学Ⅰ	1前		2								兼1
	身体の科学Ⅱ	1後		2								兼1
	スポーツ医学	2後		2								兼1
	スポーツ生理学	2前		2								兼1
	スポーツ栄養学	2後		2								兼1
	スポーツ科学	2前		2								兼1
	体力育成論	2後		2								兼1
	体育実技Ⅰ	1通		2								兼8
	体育実技Ⅱ	2通		2								兼8
	生涯スポーツⅠ	3通		2								兼1
	生涯スポーツⅡ	4通		2								兼1
	スポーツ指導論	2前		2								兼1
	健康体力論	1後		2								兼1
	人間科学演習Ⅰ	3前		2								兼1
	人間科学演習Ⅱ	3後		2								兼1
小計(16科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	0		兼9	
人文科学	哲学Ⅰ	1前		2								兼1
	哲学Ⅱ	1後		2								兼1
	心理学Ⅰ	1前		2								兼3
	心理学Ⅱ	1後		2								兼1
	現代社会と倫理	1前		2								兼1
	音楽の世界	1前		2								兼1
	美術の世界	1後		2								兼1
	文学の世界Ⅰ	1前		2								兼1
	文学の世界Ⅱ	1後		2								兼1
	文化人類学	1後		2								兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域デザイン専門科目	地域デザイン論	1前		2		1						
	地方自治論	3後		2								兼1
	地域デザイン実習	3通		6			1					
	ソーシャル・ビジネス論	2後		2								兼1
	ソーシャル・マネジメント論	3前		2								兼1
	医療経済学	2後		2								兼1
	労働法	3前		2								兼1
	行政法	3後		2								兼1
	社会調査方法論	1後		2								兼1
小計(9科目)	—	0	22	0	2	0	0	0	0		兼7	
教育専門科目	倫理学	1後		2		2						
	憲法Ⅰ〔人権〕	1後		4								兼1
	憲法Ⅱ〔統治機構〕	2前		4								兼1
	現代社会学	2前		2								兼1
	国際政治学	2後		2								兼1
	宗教学	2前		2								兼1
	現代政治学	2前		2								兼1
	社会思想史	3前		2								兼1
	国際経済学Ⅰ	3前		2								兼1
	法学概論	2前		2								兼1
小計(10科目)	—	0	24	0	2	0	0	0	0		兼7	
特別支援教育専門科目	知的障害者の病理保健	3前		2								兼1
	肢体不自由者の病理保健	3後		2								兼1
	病弱者の病理保健	3後		2								兼1
	知的障害教育方法論Ⅰ	2前		2				1				
	知的障害教育方法論Ⅱ	2後		2				1				
	病弱教育方法論	2前		2								兼1
	重複障害・LD等教育論	2前		2								兼1
	肢体不自由教育方法論	2後		2				1				
	視覚障害教育論	3前		2								兼1
	聴覚障害教育論	3後		2								兼1
	障害児教育実習	3通		3				1				兼1
小計(11科目)	—	0	23	0	0	0	1	0	0		兼7	
人間科学	健康管理学	1前		2								兼1
	身体の科学Ⅰ	1前		2								兼1
	身体の科学Ⅱ	1後		2								兼1
	スポーツ医学	2後		2								兼1
	スポーツ生理学	2前		2								兼1
	スポーツ栄養学	2後		2								兼3
	スポーツ科学	2前		2								兼1
	体力科学	2後		2								兼1
	トレーニング科学	1前		2								兼1
	体育実技Ⅰ	1通		2								兼8
	体育実技Ⅱ	2通		2								兼8
	生涯スポーツⅠ	3通		2								兼1
	生涯スポーツⅡ	4通		2								兼1
	スポーツ指導論	2前		2								兼1
	健康体力論	1後		2								兼1
	人間科学演習Ⅰ	3前		2								兼1
人間科学演習Ⅱ	3後		2								兼1	
小計(16科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	0		兼12	
人文科学	哲学Ⅰ	1前		2								兼1
	哲学Ⅱ	1前		2								兼1
	心理学Ⅰ	1前		2								兼3
	心理学Ⅱ	1後		2								兼2
	現代社会と倫理	1前		2								兼1
	音楽の世界	1前		2								兼1
	美術の世界	1後		2								兼1
	文学の世界Ⅰ	1前		2								兼1
	文学の世界Ⅱ	1後		2								兼1
	文化人類学	1後		2								兼2

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学	比較宗教学	1後		2								兼1
	イスラム教の思想と文化	1前		2								兼1
	人文科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	人文科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	兼11
自然・数理科学	科学と人間	1後		2								兼1
	物質の世界	1前		2								兼1
	生命の科学Ⅰ	1前		2								兼1
	生命の科学Ⅱ	1後		2								兼1
	環境と人間Ⅰ	1前		2								兼1
	環境と人間Ⅱ	1後		2								兼1
	統計学Ⅰ	1前		2								兼1
	統計学Ⅱ	1後		2								兼1
	数学Ⅰ	1前		2								兼1
	数学Ⅱ	1後		2								兼1
	自然・数理科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	自然・数理科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	兼5
社会科学	日本国憲法	1前		2								兼2
	法学	1後		2								兼1
	世界の近現代史Ⅰ	1前		2								兼1
	世界の近現代史Ⅱ	1後		2								兼1
	政治学Ⅰ	1前		2								兼1
	政治学Ⅱ	1後		2								兼1
	経済学Ⅰ	1前		2								兼1
	経済学Ⅱ	1後		2								兼1
	社会学Ⅰ	1前		2								兼1
	社会学Ⅱ	1後		2								兼1
	ジェンダーと社会	1後		2								兼1
	平和学	1前		2								兼1
	社会科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	社会科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	兼12
地域と世界	北海道・北方地域文化論Ⅰ	1前		2								兼1
	北海道・北方地域文化論Ⅱ	1後		2								兼1
	日本の文化Ⅰ	1前		2								兼1
	日本の文化Ⅱ	1後		2								兼1
	中国の文化	1前		2								兼1
	韓国・朝鮮の文化	1前		2								兼1
	アメリカの文化	1前		2								兼1
	ヨーロッパの文化	1前		2								兼1
	国際・比較文化論	1前		2								兼1
	地域と世界基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	地域と世界基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼7
キリスト教学	キリスト教文化入門Ⅰ	1前	2									兼1
	キリスト教文化入門Ⅱ	1後	2									兼1
	聖書入門Ⅰ	2前		2								兼1
	聖書入門Ⅱ	2後		2								兼1
	キリスト教史Ⅰ	2前		2								兼1
	キリスト教史Ⅱ	2後		2								兼1
	聖書講読Ⅰ	3前		2								兼1
	聖書講読Ⅱ	3後		2								兼1
	キリスト教学演習Ⅰ	3前		2								兼1
	キリスト教学演習Ⅱ	3後		2								兼1
	小計(10科目)	—	4	16	0	0	0	0	0	0	0	兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学	比較宗教学	1後		2								兼1
	世界の諸宗教	1前		2								兼1
	人文科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	人文科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	兼13
自然・数理科学	科学と人間	1後		2								兼1
	物質の世界	1前		2								兼1
	生命の科学Ⅰ	1前		2								兼4
	生命の科学Ⅱ	1後		2								兼1
	環境と人間Ⅰ	1前		2								兼2
	環境と人間Ⅱ	1後		2								兼1
	統計学Ⅰ	1前		2								兼2
	統計学Ⅱ	1後		2								兼1
	数学Ⅰ	1前		2								兼1
	数学Ⅱ	1後		2								兼1
	自然・数理科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	自然・数理科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	兼12
社会科学	日本国憲法	1前		2								兼2
	法学	1後		2								兼1
	世界の近現代史Ⅰ	1前		2								兼1
	世界の近現代史Ⅱ	1後		2								兼1
	政治学Ⅰ	1前		2								兼1
	政治学Ⅱ	1後		2								兼1
	経済学Ⅰ	1前		2								兼2
	経済学Ⅱ	1後		2								兼2
	社会学Ⅰ	1前		2								兼1
	社会学Ⅱ	1後		2								兼1
	ジェンダーと社会	1後		2								兼1
	平和学	1前		2								兼1
	社会科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	社会科学基礎演習Ⅱ	1前		2								兼1
	小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	兼14
地域と世界	北海道・北方地域文化論Ⅰ	1前		2								兼1
	北海道・北方地域文化論Ⅱ	1後		2								兼1
	日本の文化Ⅰ	1前		2								兼1
	日本の文化Ⅱ	1後		2								兼1
	中国の文化	1前		2								兼1
	韓国・朝鮮の文化	1前		2								兼1
	アメリカの文化	1前		2								兼2
	ヨーロッパの文化	1前		2								兼2
	国際・比較文化論	1前		2								兼1
	地域と世界基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1
	地域と世界基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼11
キリスト教学	キリスト教文化入門Ⅰ	1前	2									兼2
	キリスト教文化入門Ⅱ	1後	2									兼2
	聖書入門Ⅰ	2前		2								兼1
	聖書入門Ⅱ	2後		2								兼1
	キリスト教史Ⅰ	2前		2								兼1
	キリスト教史Ⅱ	2後		2								兼1
	聖書講読Ⅰ	3前		2								兼1
	聖書講読Ⅱ	3後		2								兼1
	キリスト教学演習Ⅰ	3前		2								兼1
	キリスト教学演習Ⅱ	3後		2								兼1
	小計(10科目)	—	4	16	0	0	0	0	0	0	0	兼2

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	職業と人生	2前	2								兼1
	小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼1
	日本語表現 I	1前	2								兼7
	日本語表現 II	1後	2								兼7
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼7
	情報入門	1前	2								兼6
	情報活用	1後	2								兼8
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼8
	英語 I	1前	2								兼9
	英語 II	1後	2								兼9
	英語 III	2前	2								兼11
	英語 IV	2後	2								兼11
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼15
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼2
	ドイツ語 IV	2後	2								兼2
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
フランス語 III	2前	2								兼2	
フランス語 IV	2後	2								兼2	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4	
中国語 I	1前	2								兼2	
中国語 II	1後	2								兼2	
中国語 III	2前	2								兼2	
中国語 IV	2後	2								兼2	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3	
韓国語 I	1前	2								兼4	
韓国語 II	1後	2								兼4	
韓国語 III	2前	2								兼4	
韓国語 IV	2後	2								兼4	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼6	
英語と文化	2後	2								兼2	
海外事情(英語)	2後	2								兼2	
上級英語 I	3前	2								兼1	
上級英語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (英語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (英語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼3	
ドイツ語と文化	2前	2								兼1	
海外事情(ドイツ語)	2後	2								兼1	
上級ドイツ語 I	3前	2								兼1	
上級ドイツ語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (ドイツ語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (ドイツ語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼2	
フランス語と文化	2前	2								兼1	
海外事情(フランス語)	2後	2								兼1	
上級フランス語 I	3前	2								兼1	
上級フランス語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (フランス語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (フランス語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1	
中国語と文化	2前	2								兼1	
海外事情(中国語)	2前	2								兼1	
上級中国語 I	3前	2								兼1	
上級中国語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (中国語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (中国語)	4前	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	職業と人生	2前	2								兼1
	小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼1
	日本語表現 I	1前	2								兼7
	日本語表現 II	1後	2								兼7
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼8
	情報入門	1前	2								兼4
	情報活用	1後	2								兼4
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	英語 I	1前	2								兼9
	英語 II	1後	2								兼9
	英語 III	2前	2								兼10
	英語 IV	2後	2								兼10
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼15
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼2
	ドイツ語 IV	2後	2								兼2
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
フランス語 III	2前	2								兼2	
フランス語 IV	2後	2								兼2	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3	
中国語 I	1前	2								兼2	
中国語 II	1後	2								兼2	
中国語 III	2前	2								兼2	
中国語 IV	2後	2								兼2	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4	
韓国語 I	1前	2								兼4	
韓国語 II	1後	2								兼3	
韓国語 III	2前	2								兼4	
韓国語 IV	2後	2								兼4	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼7	
英語と文化	2後	2								兼2	
海外事情(英語)	2後	2								兼2	
上級英語 I	3前	2								兼1	
上級英語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (英語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (英語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼3	
ドイツ語と文化	2前	2								兼1	
海外事情(ドイツ語)	2後	2								兼1	
上級ドイツ語 I	3前	2								兼1	
上級ドイツ語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (ドイツ語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (ドイツ語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼2	
フランス語と文化	2前	2								兼1	
海外事情(フランス語)	2後	2								兼1	
上級フランス語 I	3前	2								兼1	
上級フランス語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (フランス語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (フランス語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1	
中国語と文化	2前	2								兼1	
海外事情(中国語)	2前	2								兼1	
上級中国語 I	3前	2								兼1	
上級中国語 II	3後	2								兼1	
外国語演習 I (中国語)	4前	2								兼1	
外国語演習 II (中国語)	4後	2								兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	韓国語と文化	2前	2								兼1	
	海外事情(韓国語)	2前	2								兼1	
	上級韓国語Ⅰ	3前	2								兼1	
	上級韓国語Ⅱ	3後	2								兼1	
	外国語演習Ⅰ(韓国語)	4前	2								兼1	
	外国語演習Ⅱ(韓国語)	4後	2								兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1	
国際交流関係科目	日本の文学(国際)	3前・後	2								兼1	
	日本のサブカルチャー	1前・後	2								兼1	
	日本の歴史(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本の社会(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本社会における言語とジェンダー(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本の金融と経済(国際)	1前・後	2								兼1	
	マネジメント論(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本の文化(国際)	3前・後	2								兼1	
	国際経済(国際)	1前・後	2								兼1	
	日米(経済)関係(国際)	1前・後	2								兼1	
	日欧(経済)関係(国際)	1前・後	2								兼1	
	比較文化(国際)	1前・後	2								兼1	
	日韓比較文化論	1前・後	2								兼1	
	メディア論(国際)	1前・後	2								兼1	
	コミュニケーション論(国際)	1前・後	2								兼1	
	環境経済	1前・後	2								兼1	
	国際交流特別講義	1前・後	2								兼2	
	日本語教授法Ⅰ	2前	2								兼1	
	日本語教授法Ⅱ	2後	2								兼1	
	日本語教授法Ⅲ	3前	2								兼1	
	Academic Skills for Study Abroad	2前・後	2								兼1	
	小計(21科目)	—	0	42	0	0	0	0	0	0	兼16	
合計(277科目)			—	42	544	0	9	3	1	0	0	兼146

卒業要件及び履修方法

卒業に必要な単位数は124単位である。卒業要件及び履修方法の詳細は、以下の通りである。

学科専門科目から合計74単位以上を修得すること。(1)「社会福祉学科」の「基盤科目」から必修20単位と、「展開科目」から必修10単位を修得すること。(2)「社会福祉学関連科目」の「福祉デザイン関連科目」「社会教育関連科目」「福祉教育関連科目」から各2単位以上を修得すること。(3)上記で修得していない「社会福祉学科」「社会福祉学関連科目」の科目の中から「ソーシャルワーク科目」「地域デザイン専門科目」「教育科目」の科目の中から38単位を修得すること。

大学共通科目は、(1)「人間科学」「人文科学」「自然・数理科学」「社会科学」「地域と世界」から各2単位以上を修得すること。また、「キリスト教学」から必修4単位を修得すること。(2)「キャリア支援」の「日本語科目」から必修4単位、「情報科目」から必修4単位を修得すること。(3)「外国語」の英語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。(4) (1)～(3)までの上記で修得すべき単位30単位以外に8単位以上を修得すること。

「大学共通科目」及び「社会福祉学科」「社会福祉学関連科目」「ソーシャルワーク科目」「地域デザイン専門科目」「教育科目」で修得すべき単位112単位以外に必要な12単位は、上記の修得すべき単位112単位として修得した授業科目以外の「大学共通科目」「学科専門教育科目」「社会福祉学部他学科専門教育科目」「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できる。ただし、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	韓国語と文化	2前	2								兼1	
	海外事情(韓国語)	2前	2								兼1	
	上級韓国語Ⅰ	3前	2								兼1	
	上級韓国語Ⅱ	3後	2								兼1	
	外国語演習Ⅰ(韓国語)	4前	2								兼1	
	外国語演習Ⅱ(韓国語)	4後	2								兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1	
国際交流関係科目	日本の文学(国際)	3前・後	2								兼1	
	日本のサブカルチャー	1前・後	2								兼2	
	日本の歴史(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本の社会(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本社会における言語とジェンダー(国際)	1前・後	2								兼1	
	日本の金融と経済(国際)	1前	2								兼1	
	マネジメント論(国際)	1前	2								兼1	
	日本の文化(国際)	3前・後	2								兼1	
	国際経済(国際)	1前・後	2								兼1	
	日米(経済)関係(国際)	1前・後	2								兼1	
	日欧(経済)関係(国際)	1前・後	2								兼1	
	比較文化(国際)	1前・後	2					1			兼1	
	日韓比較文化論	1前・後	2								兼1	
	メディア論(国際)	1前・後	2								兼1	
	コミュニケーション論(国際)	1前・後	2								兼1	
	環境経済	1前・後	2								兼2	
	国際交流特別講義	1前・後	2								兼2	
	日本語教授法Ⅰ	2前	2								兼1	
	日本語教授法Ⅱ	2後	2								兼1	
	日本語教授法Ⅲ	3前	2								兼1	
	Academic Skills for Study Abroad(赤罫線)	2前・後	2								兼1	
	小計(21科目)	—	0	42	0	1	0	0	0	0	兼20	
合計(277科目)			—	42	548	0	10	2	0	0	0	兼166

卒業要件及び履修方法

卒業に必要な単位数は124単位である。卒業要件及び履修方法の詳細は、以下の通りである。

学科専門科目から合計74単位以上を修得すること。(1)「社会福祉学科」の「基盤科目」から必修20単位と、「展開科目」から必修10単位を修得すること。(2)「社会福祉学関連科目」の「福祉デザイン関連科目」「社会教育関連科目」「福祉教育関連科目」から各2単位以上を修得すること。(3)上記で修得していない「社会福祉学科」「社会福祉学関連科目」の科目の中から「ソーシャルワーク科目」「地域デザイン専門科目」「教育科目」の科目の中から38単位を修得すること。

大学共通科目は、(1)「人間科学」「人文科学」「自然・数理科学」「社会科学」「地域と世界」から各2単位以上を修得すること。また、「キリスト教学」から必修4単位を修得すること。(2)「キャリア支援」の「日本語科目」から必修4単位、「情報科目」から必修4単位を修得すること。(3)「外国語」の英語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。(4) (1)～(3)までの上記で修得すべき単位30単位以外に8単位以上を修得すること。

「大学共通科目」及び「社会福祉学科」「社会福祉学関連科目」「ソーシャルワーク科目」「地域デザイン専門科目」「教育科目」で修得すべき単位112単位以外に必要な12単位は、上記の修得すべき単位112単位として修得した授業科目以外の「大学共通科目」「学科専門教育科目」「社会福祉学部他学科専門教育科目」「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できる。ただし、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会福祉学 基盤科目	社会福祉学入門	1前	2			9	3					
	社会福祉の歴史と思想	1後	2			1						
	人間の発達と社会	1後	2			1						
	社会福祉と法	2前	2									兼1
	社会福祉概説Ⅰ	1前	2			1						
	社会福祉概説Ⅱ	1後	2			1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1前	2			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1前	2			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	1後	2									兼1
	社会福祉基礎ゼミナールⅠ	1通	2			3	1					兼3
	社会福祉基礎ゼミナールⅡ	2通	2			4						兼2
小計(11科目)	—	20	2	0	9	3	0	0	0		兼5	
社会福祉学 展開科目	社会福祉研究法Ⅰ	3前	2			1	2					
	社会福祉研究法Ⅱ	3後	2									兼1
	社会福祉専門ゼミナールⅠ	3前	2			9	3					兼1
	社会福祉専門ゼミナールⅡ	3後	2			9	3					兼1
	卒業研究	4通	4			9	3					兼1
小計(5科目)	—	10	2	0	9	3	0	0	0		兼2	
社会福祉学 専門科目	心理学と心理的支援	1後	2									兼1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前	2									兼1
	高齢者福祉論	2前	2				1					
	国際福祉論	2後	2			3						兼2
	社会福祉調査論	3前	2				1					
	福祉政策論	3前	2			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3前	2									兼1
	海外福祉実習	2通	4			1						
	災害と福祉	3前	1			1						
小計(9科目)	—	0	19	0	4	1	0	0	0		兼5	
社会福祉学 関連科目	ジェンダー論	1前	2			1						
	生涯学習概論	1通	4									兼1
	社会教育経営論Ⅰ	2前	2									兼1
	社会教育経営論Ⅱ	2後	2									兼1
	生涯学習支援論Ⅰ	2前	2									兼1
	生涯学習支援論Ⅱ	2後	2									兼1
	社会教育演習	4通	4									兼1
	社会教育実習	2通	1									兼1
	青少年問題と社会教育	3前	2									兼1
	家庭教育と社会教育	2前	2									兼1
	現代資本主義論	2後	2									兼1
	日本経済論Ⅰ	3前	2									兼1
	世界史	2前	4									兼1
	地理学	2前	2									兼1
	現代哲学	2後	2									兼1
	地誌概説	2後	4									兼1
	日本史Ⅰ〔前近代〕	2前	2									兼1
	日本史Ⅱ〔近現代〕	2後	2									兼1
	社会保障法	3前	2									兼1
小計(19科目)	—	0	45	0	1	0	0	0	0		兼9	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会福祉学関連科目	社会学と社会システム	1後		2								兼1
	社会保障論Ⅰ	2前		2			1					兼1
	福祉財政論	2前		2								兼1
	障害者福祉論	2前		2		1						兼1
	児童・家庭福祉論	2前		2		1						兼1
	知的障害者の心理	2前		2		1						兼1
	肢体不自由者の心理	2前		2			1					兼1
	病弱者の心理	2後		2								兼1
	権利擁護を支える法制度	2後		2								兼1
	司法福祉論	3前		2								兼1
	障害児教育論	3前		2								兼1
	スクールソーシャルワーク論	3後		2			1					兼1
	スクールソーシャルワーク演習	4通		1			1					兼1
	スクールソーシャルワーク実習	4通		3			1					兼1
	スクールソーシャルワーク実習指導	4通		1			1					兼1
小計(15科目)	—	0	29	0	3	3	0	0	0		兼6	
専門科目	医学概論	1前		2								兼2
	公的扶助論	2後		2			1					兼1
	社会保障論Ⅱ	2後		2								兼1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後		2		1						兼1
	社会福祉管理運営論	3前		2			1					兼1
	保健医療と福祉	3前		2								兼1
	ソーシャルワークの基盤と専門職〔専門〕	2前		2			1					兼1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ〔専門〕	2前		2								兼1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ〔専門〕	2後		2								兼1
	ソーシャルワーク演習	2前		2		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅰ	2後		2		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅱ	3前		4		3						兼1
	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅲ	3後		2		3						兼1
	ソーシャルワーク入門実習	2後		2		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実習	3通		8		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実践論	2前		2		2						兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後		2		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3前		2		3	2					兼1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3後		3		3	2					兼1
小計(19科目)	—	0	47	0	6	3	0	0	0		兼7	
S W 展開科目	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2前		2		1						兼1
	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2後		2			1					兼1
	精神医学と精神医療Ⅰ	3前		2								兼1
	精神医学と精神医療Ⅱ	3後		2								兼1
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	3後		2								兼1
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2後		2		1						兼1
	精神保健福祉の原理Ⅱ	3前		2		1						兼1
	精神障害リハビリテーション論	4前		2								兼1
	精神保健福祉制度論	3後		2		1						兼1
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	3後		2		2						兼1
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	4通		4		2						兼1
	精神保健ソーシャルワーク実習	4通		7		2	1					兼1
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後		2		2						兼1
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4通		4		2	1					兼1
総合演習Ⅰ	4前		2		4	1					兼3	
総合演習Ⅱ	4後		2		5	2					兼3	
小計(16科目)	—	0	41	0	9	3	0	0	0		兼6	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域デザイン専門科目	地域デザイン論	1前		2		1						
	地方自治論	3後		2								兼1
	地域デザイン実習	3通		6			1					
	ソーシャル・ビジネス論	2後		2								兼1
	ソーシャル・マネジメント論	3前		2								兼1
	医療経済学	2後		2								兼1
	労働法	3前		2								兼1
	行政法	3後		2								兼1
	社会調査方法論	1後		2								兼1
	小計(9科目)	—	0	22	0	1	1	0	0	0		兼7
教育専門科目	倫理学	1後		2		2						
	憲法Ⅰ〔人権〕	1後		4								兼1
	憲法Ⅱ〔統治機構〕	2前		4								兼1
	現代社会学	2前		2								兼1
	国際政治学	2後		2								兼1
	宗教学	2前		2								兼1
	現代政治学	2後		2								兼1
	社会思想史	3前		2								兼1
	国際経済学Ⅰ	3前		2								兼1
	法学概論	2前		2								兼1
小計(10科目)	—	0	24	0	2	0	0	0	0		兼7	
特別支援教育専門科目	知的障害者の病理保健	3前		2								兼1
	肢体不自由者の病理保健	3後		2								兼1
	病弱者の病理保健	3後		2								兼1
	知的障害教育方法論Ⅰ	2前		2			1					
	知的障害教育方法論Ⅱ	2後		2			1					
	病弱教育方法論	2前		2								兼1
	重複障害・LD等教育論	2前		2								兼1
	肢体不自由教育方法論	2後		2			1					
	視覚障害教育論	3前		2								兼1
	聴覚障害教育論	3後		2								兼1
	障害児教育実習	3通		3			1					兼1
小計(11科目)	—	0	23	0	0	1	0	0	0		兼7	
人間科学	健康管理学	1前		2								兼2
	身体の科学Ⅰ	1前		2								兼1
	身体の科学Ⅱ	1後		2								兼1
	スポーツ医学	2後		2								兼1
	スポーツ生理学	2前		2								兼1
	スポーツ栄養学	2後		2								兼1
	体力科学	1前		2								兼1
	トレーニング科学	2後		2								兼1
	体育実技Ⅰ	1通		2								兼8
	体育実技Ⅱ	2通		2								兼8
	生涯スポーツⅠ	3通		2								兼1
	生涯スポーツⅡ	4通		2								兼1
	コーチング学	2前		2								兼1
	スポーツ科学演習	3前		2								兼1
	人間科学演習Ⅰ	3前		2								兼1
	人間科学演習Ⅱ	3後		2								兼1
小計(16科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	0		兼10	
人文科学	哲学Ⅰ	1前		2								兼1
	哲学Ⅱ	1後		2								兼1
	心理学Ⅰ	1前		2								兼3
	心理学Ⅱ	1後		2								兼2
	現代社会と倫理	1後		2								兼1
	音楽の世界	1前		2								兼1
	美術の世界	1後		2								兼1
	文学の世界Ⅰ	1前		2								兼1
	文学の世界Ⅱ	1後		2								兼1
	文化人類学	1後		2								兼2

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文科学	比較宗教学	1後		2								兼1	
	世界の諸宗教	1前		2								兼1	
	人文科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1	
	人文科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1	
	小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	兼13	
	自然・数理科学	科学と人間	1後		2								兼1
		物質の世界	1前		2								兼1
		生命の科学Ⅰ	1前・後		2								兼4
		生命の科学Ⅱ	1前		2								兼1
		環境と人間Ⅰ	1前		2								兼2
		環境と人間Ⅱ	1後		2								兼1
		統計学Ⅰ	1前・後		2								兼2
		統計学Ⅱ	1後		2								兼1
		数学Ⅰ	1前・後		2								兼2
数学Ⅱ		1前		2								兼1	
自然・数理科学基礎演習Ⅰ(未開講)		1前		2									
自然・数理科学基礎演習Ⅱ(未開講)		1後		2									
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	兼12		
社会科学	日本国憲法	1前		2								兼2	
	法学	1後		2								兼1	
	世界の近現代史Ⅰ	1前		2								兼1	
	世界の近現代史Ⅱ	1後		2								兼1	
	政治学Ⅰ	1前		2								兼1	
	政治学Ⅱ	1後		2								兼1	
	経済学Ⅰ	1前・後		2								兼2	
	経済学Ⅱ	1後		2								兼2	
	社会学Ⅰ	1前		2								兼1	
	社会学Ⅱ	1後		2								兼1	
	ジェンダーと社会	1後		2								兼1	
	平和学	1前		2								兼1	
	社会科学基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1	
	社会科学基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1	
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	兼14		
地域と世界	北海道・北方地域文化論Ⅰ	1前		2								兼1	
	北海道・北方地域文化論Ⅱ	1後		2								兼1	
	日本の文化Ⅰ	1前		2								兼1	
	日本の文化Ⅱ	1後		2								兼1	
	中国の文化	1前・後		2								兼1	
	韓国・朝鮮の文化	1前		2								兼1	
	アメリカの文化	1前・後		2								兼2	
	ヨーロッパの文化	1前・後		2								兼2	
	国際・比較文化論	1前・後		2								兼1	
	地域と世界基礎演習Ⅰ	1前		2								兼1	
	地域と世界基礎演習Ⅱ	1後		2								兼1	
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼11		
キリスト教	キリスト教文化入門Ⅰ	1前	2									兼2	
	キリスト教文化入門Ⅱ	1後	2									兼2	
	聖書入門Ⅰ	2前		2								兼1	
	聖書入門Ⅱ	2後		2								兼1	
	キリスト教史Ⅰ	2前		2								兼1	
	キリスト教史Ⅱ	2後		2								兼1	
	聖書講読Ⅰ	3前		2								兼1	
	聖書講読Ⅱ	3後		2								兼1	
	キリスト教演習Ⅰ	3前		2								兼1	
	キリスト教演習Ⅱ	3後		2								兼1	
小計(10科目)	—	4	16	0	0	0	0	0	0	0	兼2		

大学共通科目

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助			
大学共通科目	キャリア支援 情報科目	職業と人生	2前	2								兼1	
		小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼1	
		日本語表現Ⅰ	1前	2									兼7
		日本語表現Ⅱ	1後	2									兼7
		小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼8	
		情報入門	1前	2									兼4
	情報活用	1後	2									兼4	
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼6		
	英語	英語Ⅰ	1前	2									兼8
		英語Ⅱ	1後	2									兼8
		英語Ⅲ	2前	2									兼11
		英語Ⅳ	2後	2									兼11
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼16	
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ	1前	2									兼2
		ドイツ語Ⅱ	1後	2									兼2
		ドイツ語Ⅲ	2前	2									兼2
		ドイツ語Ⅳ	2後	2									兼2
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3	
	フランス語	フランス語Ⅰ	1前	2									兼2
		フランス語Ⅱ	1後	2									兼2
フランス語Ⅲ		2前	2									兼2	
フランス語Ⅳ		2後	2									兼2	
小計(4科目)		—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4		
中国語	中国語Ⅰ	1前	2									兼2	
	中国語Ⅱ	1後	2									兼2	
	中国語Ⅲ	2前	2									兼2	
	中国語Ⅳ	2後	2									兼2	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3		
韓国語	韓国語Ⅰ	1前	2									兼4	
	韓国語Ⅱ	1後	2									兼4	
	韓国語Ⅲ	2前	2									兼4	
	韓国語Ⅳ	2後	2									兼4	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼7		
外国語 英語	英語と文化	2後	2									兼2	
	海外事情(英語)	2後	2									兼2	
	上級英語Ⅰ	3前	2									兼1	
	上級英語Ⅱ	3後	2									兼1	
	外国語演習Ⅰ(英語)	4前	2									兼1	
	外国語演習Ⅱ(英語)	4後	2									兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼3		
ドイツ語	ドイツ語と文化	2前	2									兼1	
	海外事情(ドイツ語)	2後	2									兼1	
	上級ドイツ語Ⅰ	3前	2									兼1	
	上級ドイツ語Ⅱ	3後	2									兼1	
	外国語演習Ⅰ(ドイツ語)	4前	2									兼1	
	外国語演習Ⅱ(ドイツ語)	4後	2									兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼2		
フランス語	フランス語と文化	2前	2									兼1	
	海外事情(フランス語)	2後	2									兼1	
	上級フランス語Ⅰ	3前	2									兼1	
	上級フランス語Ⅱ	3後	2									兼1	
	外国語演習Ⅰ(フランス語)	4前	2									兼1	
	外国語演習Ⅱ(フランス語)	4後	2									兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1		
中国語	中国語と文化	2前	2									兼1	
	海外事情(中国語)	2前	2									兼1	
	上級中国語Ⅰ	3前	2									兼1	
	上級中国語Ⅱ	3後	2									兼1	
	外国語演習Ⅰ(中国語)	4前	2									兼1	
	外国語演習Ⅱ(中国語)	4後	2									兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼1		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	韓国語	韓国語と文化	2前	2								兼1
		海外事情(韓国語)	2前	2								兼1
		上級韓国語Ⅰ	3前	2								兼1
		上級韓国語Ⅱ	3後	2								兼1
		外国語演習Ⅰ(韓国語)	4前	2								兼1
		外国語演習Ⅱ(韓国語)	4後	2								兼1
		小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0
国際交流関係科目	国際交流コース	日本の文学[国際]	3前・後	2								兼1
		日本のサブカルチャー	1前・後	2								兼2
		日本の歴史[国際]	1前	2								兼1
		日本の社会[国際]	1前・後	2								兼1
		日本社会における言語とジェンダー[国際]	1前・後	2								兼1
		日本の金融と経済[国際]	1前・後	2								兼1
		マネジメント論[国際]	1前・後	2								兼1
		日本の文化[国際]	3前・後	2								兼1
		国際経済[国際]	1前・後	2								兼1
		日米(経済)関係[国際]	1前・後	2								兼1
		日欧(経済)関係[国際]	1前・後	2			1					兼1
		比較文化[国際]	1前・後	2								兼1
		日韓比較文化論	1前・後	2								兼1
		メディア論[国際]	1後	2								兼1
		コミュニケーション論[国際]	1前・後	2								兼1
		環境経済	1前・後	2								兼2
		国際交流特別講義	1前・後	2								兼2
		日本語教授法Ⅰ	2前	2								兼1
		日本語教授法Ⅱ	2後	2								兼1
		日本語教授法Ⅲ	3前	2								兼1
		Academic Skills for Study Abroad	2前・後	2								
小計(21科目)	—	0	42	0	1	0	0	0	0	0	兼19	
合計(277科目)			—	42	548	0	9	4	0	0	0	兼157

卒業要件及び履修方法

卒業に必要な単位数は124単位である。卒業要件及び履修方法の詳細は、以下の通りである。

学科専門科目から合計74単位以上修得すること。(1)「社会福祉学科科目」の「基盤科目」から必修20単位と、「展開科目」から必修10単位を修得すること。(2)「社会福祉学関連科目」の「福祉デザイン関連科目」「社会教育関連科目」「福祉教育関連科目」から各2単位以上を修得すること。(3)上記で修得していない「社会福祉学科科目」「社会福祉学関連科目」の科目の中から「ソーシャルワーク科目」「地域デザイン専門科目」「教育科目」の科目の中から38単位を修得すること。

大学共通科目は、(1)「人間科学」「人文科学」「自然・数理科学」「社会科学」「地域と世界」から各2単位以上を修得すること。また、「キリスト教学」から必修4単位を修得すること。(2)「キャリア支援」の「日本語科目」から必修4単位、「情報科目」から必修4単位を修得すること。(3)「外国語」の英語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。(4) (1)～(3)までの上記で修得すべき単位30単位以外に8単位以上を修得すること。

「大学共通科目」及び「社会福祉学科科目」「社会福祉学関連科目」「ソーシャルワーク科目」「地域デザイン専門科目」「教育科目」で修得すべき単位112単位以外に必要な12単位は、上記の修得すべき単位112単位として修得した授業科目以外の「大学共通科目」「学科専門教育科目」「社会福祉学部他学科専門教育科目」「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できる。ただし、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- 社会福祉士養成課程への対応により、科目名を変更。
 - ・「ソーシャルワーク論の基盤と専門職〔共通〕」→「ソーシャルワークの基盤と専門職」
 - ・「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ〔共通〕」→「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」
 - ・「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ〔共通〕」→「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」
 - ・「ソーシャルワーク演習〔共通〕」→「ソーシャルワーク演習」

- 精神保健福祉士養成課程への対応により、科目名を変更。
 - ・「ソーシャルワーク演習Ⅰ〔精神〕」→「精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ」
 - ・「ソーシャルワーク演習Ⅱ〔精神〕」→「精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ」
 - ・「ソーシャルワーク実習〔精神〕」→「精神保健ソーシャルワーク実習」
 - ・「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔精神〕」→「精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」
 - ・「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔精神〕」→「精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」

- 教育課程編成上の理由により、科目名を変更。
 - ・「精神障害者リハビリテーション論」→「精神障害者リハビリテーション論」
 - ・「体力育成論」→「トレーニング科学」
 - ・「スポーツ指導論」→「コーチング学」
 - ・「イスラム教の思想と文化」→「世界の諸宗教」

- 教育課程編成上及び授業運営上の理由により、科目名と配当年次を変更。
 - ・「スポーツ科学」→「体力科学」、「2前」→「1前」
 - ・「健康体力論」→「スポーツ科学演習」、「1後」→「3前」

- 授業運営上の理由により、配当年次を変更。
 - ・国際政治学「2前」→「2後」
 - ・現代社会と倫理「1前」→「1前・後」
 - ・生命の科学Ⅱ「1後」→「1前」
 - ・数学Ⅱ「1後」→「1前」
 - ・中国の文化「1前」→「1前・後」
 - ・国際・比較文化論「1前」→「1前・後」
 - ・外国語演習Ⅱ(中国語)「4前」→「4後」
 - ・日本の歴史〔国際〕「1前・後」→「1前」
 - ・メディア論〔国際〕「1前・後」→「1後」

- 授業運営上の理由により、配当年次と兼任・兼任教員の配置を変更。
 - ・医学概論「1後」→「1前」、「兼1」→「兼2」
 - ・生命の科学Ⅰ「1前」→「1前・後」、「兼1」→「兼4」
 - ・統計学Ⅰ「1前」→「1前・後」、「兼1」→「兼2」
 - ・数学Ⅰ「1前」→「1前・後」、「兼1」→「兼2」
 - ・経済学Ⅰ「1前」→「1前・後」、「兼1」→「兼2」、
 - ・アメリカの文化「1前」→「1前・後」、「兼1」→「兼2」
 - ・ヨーロッパの文化「1前」→「1前・後」、「兼1」→「兼2」

- 授業運営上の理由により、配当年次と単位数を変更。
 - ・精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ「4後」→「4通」、「2」→「4」

- 授業運営上の理由により、単位数を変更。
 - ・地域デザイン実習「4」→「6」

- 「播磨 正一」講師が准教授に昇任したことにより、専任教員等の配置を変更。
 - ・肢体不自由者の心理「講師1」→「准教授1」
 - ・知的障害教育方法論Ⅰ「講師1」→「准教授1」
 - ・知的障害教育方法論Ⅱ「講師1」→「准教授1」
 - ・肢体不自由教育方法論「講師1」→「准教授1」
 - ・障害児教育実習「講師1」→「准教授1」

- 授業運営上の理由により、専任教員等の配置に教員を追加。
 - ・比較文化〔国際〕専任教員等の配置に「教授1」を追加。

- 授業運営上の理由により、兼任・兼任教員の配置を変更。
 - ・健康管理学「兼1」→「兼2」
 - ・心理学Ⅱ「兼1」→「兼2」
 - ・文化人類学「兼1」→「兼2」
 - ・環境と人間Ⅰ「兼1」→「兼2」
 - ・経済学Ⅱ「兼1」→「兼2」
 - ・キリスト教文化入門Ⅰ「兼1」→「兼2」
 - ・キリスト教文化入門Ⅱ「兼1」→「兼2」
 - ・情報入門「兼6」→「兼4」
 - ・情報活用「兼8」→「兼4」
 - ・英語Ⅰ「兼9」→「兼8」
 - ・英語Ⅱ「兼9」→「兼8」
 - ・日本のサブカルチャー「兼1」→「兼2」
 - ・環境経済「兼1」→「兼2」

【令和6年度】

□授業運営上の理由により、配当年次を変更。

- ・国際福祉論「2後」→「2前」
- ・家庭教育と社会教育「2前」→「2後」
- ・世界史「2前」→「2通」
- ・地理学「2前」→「2前・後」
- ・現代哲学「2後」→「2前」
- ・地誌概説「2後」→「2通」
- ・社会学と社会システム「1後」→「1前」
- ・宗教学「2前」→「2前・後」
- ・現代政治学「2後」→「2前」
- ・スポーツ生理学「2前」→「2後」
- ・哲学Ⅱ「1後」→「1前」
- ・経済学Ⅰ「1前・後」→「1前」
- ・経済学Ⅱ「1後」→「1前・後」
- ・社会科学基礎演習Ⅱ「1後」→「1前」
- ・ヨーロッパの文化「1前・後」→「1後」
- ・職業と人生「2前」→「2前・後」
- ・日本の歴史〔国際〕「1前」→「1前・後」
- ・日本の金融と経済〔国際〕「1前・後」→「1前」
- ・マネジメント論〔国際〕「1前・後」→「1前」
- ・メディア論〔国際〕「1後」→「1前・後」

□授業運営上の理由により、配当年次と兼任・兼任教員の配置を変更。

- ・スポーツ栄養学「2後」→「2前」、「兼1」→「兼3」
- ・数学Ⅰ「1前・後」→「1後」、「兼2」→「兼1」

□「中村 和彦」教授が学長に就任したこと(後任の専任教員については、令和6年度中に採用し、令和7年度に就任する計画)により、専任教員等の配置などを変更。

- ・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ「教授1」→「教授0」、「兼0」→「兼1」(2024年度に限り兼任教員担当)
- ・精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ「教授1」→「教授0」、「兼0」→「兼2」(2024年度に限り兼任教員担当)
- ・精神保健福祉の原理Ⅰ「教授1」→「教授0」、「兼0」→「兼2」(2024年度に限り兼任教員担当)
- ・精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ「教授2」→「教授1」(令和7年度以降に開講)
- ・精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ「教授2」→「教授1」(令和7年度以降に開講)
- ・精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ「教授2」→「教授1」(令和7年度以降に開講)

□「中村 和彦」教授が学長に就任したこと(後任の専任教員については、令和6年度中に採用し、令和7年度に就任する計画)、「松岡 是伸」准教授、「大友 秀治」准教授が教授に昇任したことにより、専任教員等の配置などを変更。

- ・社会福祉学入門「教授9」→「教授10」、「准教授3」→「准教授1」、「兼0」→「兼2」(元となる学科(福祉計画学科・福祉臨床学科)の兼任教員が担当)
- ・社会福祉専門ゼミナールⅠ「教授9」→「教授10」、「准教授3」→「准教授1」(令和7年度以降に開講)
- ・社会福祉専門ゼミナールⅡ「教授9」→「教授10」、「准教授3」→「准教授1」(令和7年度以降に開講)
- ・卒業研究「教授9」→「教授10」、「准教授3」→「准教授1」(令和7年度以降に開講)
- ・総合演習Ⅱ「教授5」→「教授6」、「准教授2」→「准教授0」(令和7年度以降に開講)

□「中村 和彦」教授が学長に就任したこと(後任の専任教員については、令和6年度中に採用し、令和7年度に就任する計画)、「大友 秀治」准教授が教授に昇任したことにより、専任教員等の配置などを変更。

- ・精神保健ソーシャルワーク実習「准教授1」→「准教授0」(令和7年度以降に開講)
- ・精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ「准教授1」→「准教授0」(令和7年度以降に開講)

□「松岡 是伸」准教授が教授に昇任したことにより、専任教員等の配置を変更。

- ・社会福祉研究法Ⅰ「教授1」→「教授2」、「准教授2」→「准教授1」
- ・社会保障論Ⅰ「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・公的扶助論「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・ソーシャルワーク入門実習「教授3」→「教授4」、「准教授2」→「准教授1」
- ・ソーシャルワーク実習「教授3」→「教授4」、「准教授2」→「准教授1」
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ「教授3」→「教授4」、「准教授2」→「准教授1」
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ「教授3」→「教授4」、「准教授2」→「准教授1」
- ・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ「教授3」→「教授4」、「准教授2」→「准教授1」
- ・地域デザイン実習「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」

□「大友 秀治」准教授が教授に昇任したことにより、専任教員等の配置を変更。

- ・社会福祉基礎ゼミナールⅠ「教授3」→「教授4」、「准教授1」→「准教授0」
- ・スクールソーシャルワーク論「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・スクールソーシャルワーク演習「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・スクールソーシャルワーク実習「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・スクールソーシャルワーク実習指導「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・ソーシャルワークの基礎と専門職〔専門〕「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
- ・精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」

□授業運営上の理由により、兼任・兼任教員の配置を変更。

- ・知的障害者の心理「兼0」→「兼1」
- ・ソーシャルワーク演習「兼1」→「兼2」
- ・ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅰ「兼1」→「兼2」
- ・健康管理学「兼2」→「兼1」
- ・英語Ⅰ「兼8」→「兼9」
- ・英語Ⅱ「兼8」→「兼9」
- ・英語Ⅲ「兼11」→「兼10」
- ・英語Ⅳ「兼11」→「兼10」
- ・韓国語Ⅱ「兼4」→「兼3」

□令和5年度未開講科目の開講により、兼任・兼任教員の配置を変更。

- ・自然・数理科学基礎演習Ⅰ「兼0」→「兼1」
- ・自然・数理科学基礎演習Ⅱ「兼0」→「兼1」

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	257 科目	0 科目	277 科目	20 科目 [0]	257 科目 [0]	0 科目 [0]	277 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Academic Skills for Study Abroad	2	2前・後	一般	選択	担当教員の都合により未開講。代替措置無し。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Academic Skills for Study Abroad」は、主に海外（英語圏）の大学で学ぶためのスキルを養うことを目的とした学部共通の選択科目であり教員の都合により一時的に未開講となっているが、次年度以降は開講できるよう調整する予定である。本学は国際教育センターを設置しており、海外（英語圏）の大学で学ぶためのスキルの身につけ方等も含めた留学に関する全般的な相談にも対応しているため、次年度に留学を考えている学生で要望があった場合は、個別に対応していく。学生への周知方法としては、授業期間開始前にオリエンテーション資料として配付している「科目一覧」の中で非開講であることを周知している。現時点でこの件に関する問合せ等は発生していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{277} = \boxed{0.36}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北星学園大学 短期大学部 (4,000㎡)			
	校舎敷地	0㎡	70,350.21㎡	0㎡	70,350.21㎡				
	運動場用地	0㎡	38,851.79㎡	0㎡	38,851.79㎡				
	小 計	0㎡	109,202.00㎡	0㎡	109,202.00㎡				
	そ の 他	0㎡	3,524.00㎡	0㎡	3,524.00㎡				
	合 計	0㎡	112,726.00㎡	0㎡	112,726.00㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北星学園大学 短期大学部 (4,150㎡)			
		0㎡ (0㎡)	47,636.47㎡ (47,636.47㎡)	0㎡ (0㎡)	47,636.47㎡ (47,636.47㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	54室	32室	14室	13室 (補助職員 2人)	4室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	社会福祉学部 社会福祉学科			13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分 ・ 図書 529,047冊 〔うち外国書131,389冊〕 ・ 学術雑誌373種 〔うち外国書 61種〕 ・ 電子ジャーナル・データ ベース 132種 〔うち外国書 104種〕 ・ 視聴覚資料 10,156点 令和4年度の決算値が確定し たことによる変更(5) 令和5年度の決算値が確定し たことによる変更(6)	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	社会福祉学部 社会福祉学科	98,408 [24,047] (93,472 [23,419]) (92,133 [23,082]) (92,020 [22,831])	83 [11] (83 [11])	10 [10] (10 [10])	1,137 (1,137)	- (-)	- (-)		
	計	98,408 [24,047] (93,472 [23,419]) (92,133 [23,082]) (92,020 [22,831])	83 [11] (83 [11])	10 [10] (10 [10])	1,137 (1,137)	- (-)	- (-)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	5,109㎡	448		980,000					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	5,657.11㎡	弓道場		66.24㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等については、このほかに大学院加算額、科研費加算額、種別配分額等多様な研究活動の活性化を図るために、案件に応じて様々な追加算が措置される。 開設前年度の図書購入費・設備購入費については、改組前の学科で経費を見積もっているため、積算しない。 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。 学費改定による変更(6)
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	—千円	2,090千円	6,030千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	—千円	486千円	486千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,150千円 +1,130千円	1,040千円 +1,030千円	1,040千円 +1,030千円	1,040千円 +1,030千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入及び手数料収入等を充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北星学園大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号	
英文学科	4	227	3年次25	910	-	1.09	1.02	-	-	同上	令和5年度:入学定員変更(18) 令和7年度:編入学定員変更(1)
心理・応用コミュニケーション学科	4	131	3年次15	518	学士(英文学)	1.09	1.01	-	昭和37	同上	
経済学部	4	96	3年次10	392	学士(経済学)	1.08	1.03	-	平成14	同上	令和5年度:入学定員変更(6)
経済学科	4	384	3年次16	1528	-	1.07	1.04	-	-	北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号	
経営情報学科	4	161	3年次6	638	学士(経営情報学)	1.04	1.01	-	昭和40	同上	令和5年度:入学定員変更(9)
経済法学科	4	107	3年次5	428	学士(経済法学)	1.12	1.08	-	昭和62	同上	令和5年度:入学定員変更(5) 令和7年度:編入学定員変更(Δ1)
社会福祉学部	4	116	3年次5	462	-	1.08	1.04	-	平成14	同上	令和5年度:入学定員変更(6) 令和7年度:編入学定員変更(Δ5)
福祉計画学科	4	190	3年次25	898	-	1.04	1.01	-	-	北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号	
福祉臨床学科	4	-	3年次10	190	学士(福祉計画学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度:学生募集停止 令和7年度:3年次編入学定員学生募集停止
心理学科	4	-	3年次10	190	学士(福祉臨床学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度:学生募集停止 令和7年度:3年次編入学定員学生募集停止
社会福祉学科	4	70	3年次5	278	学士(心理学)	1.04	1.01	-	平成8	同上	令和5年度:名称変更、入学定員変更(6) 令和7年度:編入学定員変更(Δ2)
大学全体	4	120	3年次0	240	学士(社会福祉学)	1.05	-	-	令和5	同上	令和7年度:3年次編入学定員学生募集開始(5)
大学全体	4	801	3年次66	3336	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	<該当なし>		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	<該当なし>		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜社会福祉学部 社会福祉学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学設置基準第11条の規定に基づき、本学のファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という）を推進するため、「北星学園大学 FD・SDに関する規程」を定め、FD・SD委員会を設置している。学長、副学長、各学部長、短期大学部長、スミス・ミッションセンター部長、学生部長、事務局長をもって構成し、事務局次長と大学事務部長が陪席する。また、FDに係る事項を扱う場合は教育支援課長が、SDに係る事項を扱う場合は人事課長が陪席する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【FD・SD委員会 令和5（2023）年度実績】

第1回 FD・SD委員会（2023年5月24日開催） 委員9名中出席者9名

＜報告事項＞

1. FD・SDの実施状況について
2. 今後のFD・SDの開催予定について

＜協議事項＞

1. 授業評価アンケートの取扱いについて

＜打合事項＞

1. 2022年度自己点検評価報告書について

第2回 FD・SD委員会（2023年6月19日開催） 委員9名中出席者9名

＜報告事項＞

なし

＜協議事項＞

1. 2023年度 前期授業評価アンケート実施要領及びアンケート項目について
2. 2022年度自己点検評価報告書について

＜打合事項＞

なし

第3回 FD・SD委員会（2023年8月2日開催） 委員9名中出席者9名

＜報告事項＞

1. FD・SDの実施報告及び2023年度 前期のFD・SD実施状況について
2. 事務職員のオンラインセミナー受講状況について
3. 事務職員向けSDの実施状況等について
4. 北海道FDSDフォーラム2023について

＜協議事項＞

なし

＜打合事項＞

1. 本委員会の2023年度後期の予定について

第4回 FD・SD委員会（2023年10月4日開催） 委員9名中出席者9名

＜報告事項＞

1. FD・SDの実施報告について
2. 事務職員のオンラインセミナー受講状況について
3. 2023年度前期 授業評価アンケート結果について

＜協議事項＞

1. FD・SDの基本方針の見直しについて

＜打合事項＞

1. 2023年度後期の予定について

第5回 FD・SD委員会（2023年11月29日開催） 委員9名中出席者9名

<報告事項>

1. FD・SDの実施報告について
2. 事務職員のオンラインセミナー受講状況について
3. 全学FDの実施について

<協議事項>

1. 中長期計画推進に向けた取組みについて
2. 学則へのSDに係る事項の記載について

<打合事項>

1. FD・SDの基本方針への追記について

第6回 FD・SD委員会（2024年1月24日開催） 委員9名中出席者9名

<報告事項>

1. FD・SDの実施報告について

<協議事項>

1. 2024年度 新任教員 事務取扱等説明会SDの開催について

<打合事項>

1. 2023年度後期の予定について

第7回 FD・SD委員会（2024年3月6日開催） 委員9名中出席8名

<報告事項>

1. FD・SDの実施報告について

<協議事項>

1. 2023年度 運営総括及び2024年度 運営計画について

<打合事項>

なし

c 委員会の審議事項等

- ・全学的なFD・SDの基本方針に関すること
- ・全学的なFD・SDの自己点検及び自己評価に関すること
- ・FD・SDの諸規程の制定及び改廃に関すること
- ・モデルティーチングの顕彰に関すること
- ・その他本学のFD・SDの実施及び内容に関して必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

「北星学園大学 求める教職員像及び人材育成の目標・方針」の中で掲げる4つの人材育成の目標・方針に基づいた内容を計画している。

- (1) 建学の精神とキリスト教（プロテスタント）に基づく教育を実践するため、自学の歴史や理念を含む大学コミュニティの理解・浸透を図る。
- (2) アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つの教育方針を適切に運用していくため、FD・SDの充実を目指す。
- (3) 教学、経営・管理、財政を含む総合的な大学マネジメント能力と、自己が有する知識・スキルを土壌とした専門的な能力を養成・向上させるため、目的別に研修を実施・提供する。
- (4) 役職や経験に応じて、求められる資質の向上と必要な知識・スキルを身につけるため、階層別に研修を実施・提供する。

b 実施方法

FD・SD委員会が、単年度の実施方針等を策定して推進するとともに、その方針に基づいて各組織が適切な方法で実施している。実施したFD・SDの状況を定期的に管理・把握しながら、実施体制等の点検・評価を行い、改善につながるよう組織的に取り組んでいる。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

実施内容（1）～（4）に係るFD・SDについて、令和5（2023）年度の開催状況は以下のとおりである。

（1）に関する開催状況

- ・2023年6月21日（木）開催（参加者48名）
テーマ：北星学園余市高等学校の取組みを知る

（2）に関する開催状況

- ・2023年8月5日（土）開催（参加者152名）
テーマ：これからの北星学園—SDGsに寄与する教育の連携を目指して—
- ・2024年2月14日（水）開催（参加者25名）
テーマ：BYODの全面実施に向けて—社会福祉学部としてやれること・やるべきこと—
- ・2024年2月14日（水）開催（参加者12名）
テーマ：1年次学生の特徴・傾向を踏まえた修学指導のあり方・学生募集のあり方
- ・2024年2月27日（火）開催（参加者43名）
テーマ：学生による授業評価アンケートの結果と分析

(3) に関する開催状況

- ・2023年5月31日(水)開催(参加者70名)
テーマ: 2022年度運営総括・2023年度運営計画に係るSD
- ・2023年5月31日(水)開催(参加者45名)
テーマ: 学生の自殺予防・希死念慮対応ガイドライン説明会
- ・2023年6月7日(水)開催(参加者42名)
テーマ: ChatGPT入門
- ・2023年6月27日(火)開催(参加者19名)、2023年11月21日(火)開催(参加者22名)
テーマ: 海外危機管理セミナー・オリエンテーション
- ・2023年6月28日(水)開催(参加者90名)
テーマ: 本学の財政に係るSD・中長期計画に係るSD
- ・2023年7月5日(水)開催(参加者45名)
テーマ: 生徒・学生と教職員の困り感を解決するために
- ・2023年7月26日(水)開催(参加者41名)
テーマ: 攻めの広報SD～本学の広報方針を知る～
- ・2023年9月14日(木)開催(参加者92名)
テーマ: 予算編成及び財政に係るSD・大学設置基準改正に係るSD
- ・2023年9月20日(水)開催(参加者113名)
テーマ: 公正な研究活動推進のための研修会
- ・2023年11月1日(水)開催(参加者36名)
テーマ: 大学における性の多様性の理解と支援
- ・2023年11月3日(金)開催(参加者42名)
テーマ: GIGASchool構想の動向と学校教育～中高大学の接続に期待すること～
- ・2023年11月22日(水)開催(参加者55名)
テーマ: 多様な学び方の保障
- ・2024年1月17日(水)開催(参加者97名)
テーマ: 退学リスクを減らすための学科と各部署との連携について
- ・2024年1月31日(水)開催(参加者68名)
テーマ: 新たな自己点検評価体制にかかる説明会

ほか

(4) に関する開催状況

- ・2023年8月29日(火)開催(参加者23名)
テーマ: マネジメントスキルの修得・深化とWG答申への対応

(1)～(3)に記載する一部の研修会において、役職者を参加必須としているほか、若手教職員向けの研修会を実施、また、階層別に外部の研修会に参加することで、役職や経験に応じた研修を実施している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・実施したFD・SDを踏まえて、組織及び個人レベルで授業の内容及び方法の改善等に取り組んでいる。
- ・授業評価アンケート結果に基づくモデルティーチング実践教員を顕彰し、その授業を公開することで教育の質向上を図る「モデルティーチング顕彰制度」を導入している。また、授業評価アンケートの結果と分析に関するSDを実施し、学生からの評価を授業改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

隔年で実施しており、令和5(2023)年度(前期末及び後期末)に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学公式ウェブサイト内の「情報の公表」ページにて常時公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

社会福祉学部社会福祉学科設置の目的は、『社会福祉の専門性をもった人材養成への社会的要請を踏まえ、本学では、地域社会において、「多様性を認め合い、共に生きる社会の構築・実現を担う人材」「地域社会の活性化・地域づくりを担う人材」の養成を目指し、テクノロジーでは代替できない「人ならではの力」を有する人材の輩出』である。

本年4月には2期生の入学者を迎え、カリキュラムの核となる「社会福祉学科目」の「基盤科目」である「社会福祉学入門」「社会福祉概説Ⅰ」「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」など、各科目を昨年度同様開講している。また、社会福祉学の学びを核としつつ、コミュニケーション力、分析力、デザイン力、支援力・教育力、企画・実践力、研究力を育む3領域、「ソーシャルワーク領域」「地域デザイン領域」「教育臨床領域」の科目である「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ〔専門〕」「ソーシャル・ビジネス論(後期開講予定)」「知的障害教育方法論Ⅰ」など、2年次開講科目についても当初計画どおり開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和6(2024)年10月以降 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行している。刊行後は図書館に排架し、常時閲覧可能としている。
・大学公式ウェブサイトにて公表する。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和4(2022)年度、公益財団法人大学基準協会の大学評価(認証評価)を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けた。なお、今回は、令和11(2029)年度に受審する計画である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。